

大船渡発

スネカ 無形文化遺産へ

大船渡市の吉浜地区の伝統行事「スネカ」がユネスコの無形文化遺産に登録される見通しとなりました。「吉浜のスネカ」は恐ろしい姿の精霊が家々をまわり、怠け者を戒める小正月の行事です。秋田県の「男鹿のナマハゲ」などとともに「来訪神：仮面・仮装の神々」の一つとして、11月末からの政府間委員会で登録が正式に決まります。(10/25 ニュース)



大船渡発

サンマ水揚げ前年越え



今シーズンの岩手県内のサンマの水揚げ量は、1万5300トンあまりとなり、記録的不漁だった去年の1万4000トンをすでに上回りました。大船渡市魚市場でも、この日、サンマ船4隻が432トンのサンマを水揚げし活気づきました。サンマ漁はシーズン中盤を迎えていますが、「まだまだ脂もあるし魚体もいい」ということです。(10/25 ニュースエコー)

釜石発

母校にサツマイモ届ける

長野県に住む男子中学生が、震災時に在籍していた釜石市の白山小学校を訪れ、お世話になったお礼にと地元のスツマイモを届けました。釜石を訪れたのは長野県の飯島中3年の遠藤快莉(かいり)さん。震災後、長野に家族で移り住んでから、毎年、学校にサツマイモを送り届けてきました。遠藤さんは「今、過ごしている一瞬を大切にしてください」と後輩たちに語りかけていました。(10/26 ニュースエコー)



宮古発

山田線移管で安全教室

JR山田線の宮古・釜石間が来年3月に三陸鉄道に移管され運転が再開するのを受けて、宮古市の小学校で踏切事故防止の安全教室が開かれました。沿線の人たちは7年以上、列車が通る光景を見ていません。子どもたちは、三陸鉄道の職員から「必ず前は止まって左右を確認すること」など踏切の安全な渡り方の説明を受けていました。(10/26 ニュースエコー)



盛岡発

災害公営住宅 意見交換

盛岡に建設予定の災害公営住宅「南青山アパート」についての意見交換会が開かれました。この中で県は、完成が当初予定の来年度中から再来年12月にずれこむ見込みを示しました。一方、入居予定者からは「一日でも早く入りたい」「ペットとの生活が心配」といった声が上がっていました。来年8月頃から宅地整備に入る予定です。(10/27 ニュース)



釜石発

仮装してパレード



ハロウィーンの日、仮装した子どもたちが釜石市内をパレードしました。通常は、子どもたちがお菓子をもらいにまわりますが、釜石こども園のこのパレードは感謝の気持ちを伝える行事。子どもたちはバスを待つ人や復興工事の仕事をする人などに「ありがとう」とお菓子を手渡していました。(10/31 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122